

勤労観、職業観をはぐくむ保幼小中連携学習プログラム

			保育所・幼稚園	緑野小学校・北原小学校			緑野中学校		
			低学年	中学年	高学年	1 学年	2 学年	3 学年	
職業的（進路）発達段階			進路の探索・選択にかかわる基盤形成の時期			現実的探索と暫定的選択の時期			
○職業的（進路）発達課題（小・高専学校段階） 各発達段階において達成しておくべき課題を、進路・職業の選択能力及び将来の職業人として必要な資質の形成という側面から捉えたもの。			・自己及び他者への積極的関心の形成・発展 ・身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上 ・夢や希望、憧れの自己イメージの獲得 ・勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成			・肯定的自己理解と自己有用感の獲得 ・興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成 ・進路計画の立案と暫定的選択 ・生き方や進路に関する現実的探索			
職業的（進路）発達にかかわる諸能力			職業的（進路）発達を促すために育成することが期待される具体的な能力・態度						
領域	領域説明	能力説明							
人間関係形成能力	他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同してものごとに取り組む。	【自他の理解能力】 自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切に行動していく能力	・自分の好きなことや嫌なことをはっきり言う。 ・友達と仲良く遊び、助け合う。 ・お世話になった人などに感謝し親切にする。	・自分のよいところを見つめる。 ・友達とよいところを認め、励まし合う。 ・自分の生活を支えている人の役割や気持ちに感謝する。	・自分の長所や欠点に気付く。自分らしさを発揮する。 ・話し合いなどに積極的に参加し、自分と異なる意見も理解しようとする。 ・自分の生活を支えている人の役割や気持ちに感謝する。	・自分の良さや個性が分かり、他者の良さや感情を理解し、尊重する。 ・自分の言動が相手や他者に及ぼす影響が分かる。 ・自分の悩みを話せる人を持つ。			
		【コミュニケーション能力】 多様な集団・組織の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく能力	・友達とぶつかり合いながら集団での遊びをする。	・自分の意見や気持ちを分かりやすく表現する。 ・「ありがとう」や「ごめんない」を素直に言う。 ・自分の考えをみんなの前で話す。	・思いやりの気持ちを持ち、相手の立場に立って考え行動しようとする。 ・異年齢集団の活動に進んで参加し、役割と責任を果たそうとする。	・他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする。 ・人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。 ・リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームを組んで互いに支え合いながら仕事をする。 ・新しい環境や人間関係に適応しようとする。	総合：「社会科見学」（7月） 総合：「職場体験」（11月） 総合：「学芸発表会」（11月） 総合：「スノー教室」（2月） 音楽科：「合唱指導」（10月） 保健体育科：「集団行動」（4月～5月） 保健体育科：「体ほくし運動」（通年） 部活動（通年）	総合：「修学旅行」（7月） 総合：「学芸発表会」（11月） 音楽科：「合唱指導」（10月） 保健体育科：「集団行動」（4月～5月） 保健体育科：「体ほくし運動」（通年） 部活動（通年）	
		【情報収集・探索能力】 進路や職業等に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力	・友達や先生などに自らあいさつをする。	・「家庭や学校などの身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心を持つ。 ・「分からないことを、図鑑などで調べたり、人に質問したりする。	・いろいろな職業や生き方があることが分かり、それを選んで知ろうとする。 ・「分からないことを、図鑑などで調べたり、人に質問したりする。	・身近な職業・職業の様子やその変化が分かる。 ・図書やインターネット等を用いて、自分に必要な情報を探る。 ・気付いたこと、分かったことや個人・グループでまとめたことを発表する。	・産業・経済等の変化に伴う職業や仕事の変化のあらましを理解する。 ・「高等学校・学科等の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習歴の概略が分かる。 ・「生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・収集・整理し活用する。 ・「必要に応じ獲得した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。	行事：「体育祭」（5月） 保健体育科：「団体種目」（6月・9月） 国語科：「スピーチ・プレゼン大会」（5月） 国語科：「新聞に賛成・反対クイズ大会」（11月） 英語科：「英社会でのマナーや文化への配慮をした上での英会話」（7月）	行事：「体育祭」（5月） 保健体育科：「団体種目」（6月・9月） 国語科：「スピーチ・プレゼン大会」（5月） 国語科：「新聞に賛成・反対クイズ大会」（11月） 英語科：「英社会でのマナーや文化への配慮をした上での英会話」（7月） 行事：「体育祭」（5月） 保健体育科：「団体種目」（6月・9月） 国語科：「スピーチ・プレゼン大会」（5月） 国語科：「新聞に賛成・反対クイズ大会」（11月） 英語科：「修学旅行」で外国人にインタビュー」（7月）
情報活用能力	学ぶこと、働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす。	【情報収集・探索能力】 進路や職業等に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力	・「家庭や学校などの身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心を持つ。 ・「分からないことを、図鑑などで調べたり、人に質問したりする。	・いろいろな職業や生き方があることが分かり、それを選んで知ろうとする。 ・「分からないことを、図鑑などで調べたり、人に質問したりする。	・身近な職業・職業の様子やその変化が分かる。 ・図書やインターネット等を用いて、自分に必要な情報を探る。 ・気付いたこと、分かったことや個人・グループでまとめたことを発表する。	・産業・経済等の変化に伴う職業や仕事の変化のあらましを理解する。 ・「高等学校・学科等の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習歴の概略が分かる。 ・「生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・収集・整理し活用する。 ・「必要に応じ獲得した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。			
		【職業理解能力】 様々な体験等を通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならぬことなどを理解していく能力	・「家庭や学校などの身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心を持つ。 ・「分からないことを、図鑑などで調べたり、人に質問したりする。	・いろいろな職業や生き方があることが分かり、それを選んで知ろうとする。 ・「分からないことを、図鑑などで調べたり、人に質問したりする。	・身近な職業・職業の様子やその変化が分かる。 ・図書やインターネット等を用いて、自分に必要な情報を探る。 ・気付いたこと、分かったことや個人・グループでまとめたことを発表する。	・産業・経済等の変化に伴う職業や仕事の変化のあらましを理解する。 ・「高等学校・学科等の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習歴の概略が分かる。 ・「生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・収集・整理し活用する。 ・「必要に応じ獲得した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。	総合：「職業講話」（2月） 総合：「身近な職業調べ」（2月） 総合：「合同進路説明会」（7月） 総合：「資料の活用」（1月） 社会科：「世界のさまざまな地域の調査」（3月） 保健体育科：「オリンピック・パラリンピック調べ」（全学年） 技術科：「生活や社会における技術の役割」（10月）	総合：「卒業生の話を聞く会」（7月） 総合：「合同進路説明会」（7月） 数学科：「資料の活用」（1月） 社会科：「日本の戦い〜第二次世界大戦プレゼンテーション」（5月） 社会科：「マスコと世論」（6月）	
		【役割把握・認識能力】 生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力	・「家庭や学校などの身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心を持つ。 ・「分からないことを、図鑑などで調べたり、人に質問したりする。	・いろいろな職業や生き方があることが分かり、それを選んで知ろうとする。 ・「分からないことを、図鑑などで調べたり、人に質問したりする。	・身近な職業・職業の様子やその変化が分かる。 ・図書やインターネット等を用いて、自分に必要な情報を探る。 ・気付いたこと、分かったことや個人・グループでまとめたことを発表する。	・産業・経済等の変化に伴う職業や仕事の変化のあらましを理解する。 ・「高等学校・学科等の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習歴の概略が分かる。 ・「生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・収集・整理し活用する。 ・「必要に応じ獲得した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。	総合：「職業講話」（2月） 総合：「身近な職業調べ」（2月） 総合：「合同進路説明会」（7月） 総合：「資料の活用」（1月） 社会科：「世界のさまざまな地域の調査」（3月） 保健体育科：「オリンピック・パラリンピック調べ」（全学年） 技術科：「生活や社会における技術の役割」（10月）	総合：「卒業生の話を聞く会」（7月） 総合：「合同進路説明会」（7月） 数学科：「資料の活用」（1月） 社会科：「日本の戦い〜第二次世界大戦プレゼンテーション」（5月） 社会科：「マスコと世論」（6月）	
将来設計能力	夢や希望を持って将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。	【役割把握・認識能力】 生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力	・「家庭や学校などの身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心を持つ。 ・「分からないことを、図鑑などで調べたり、人に質問したりする。	・いろいろな職業や生き方があることが分かり、それを選んで知ろうとする。 ・「分からないことを、図鑑などで調べたり、人に質問したりする。	・身近な職業・職業の様子やその変化が分かる。 ・図書やインターネット等を用いて、自分に必要な情報を探る。 ・気付いたこと、分かったことや個人・グループでまとめたことを発表する。	・産業・経済等の変化に伴う職業や仕事の変化のあらましを理解する。 ・「高等学校・学科等の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習歴の概略が分かる。 ・「生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・収集・整理し活用する。 ・「必要に応じ獲得した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。			
		【計画実行能力】 目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動等で実行していく能力	・「家庭や学校などの身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心を持つ。 ・「分からないことを、図鑑などで調べたり、人に質問したりする。	・いろいろな職業や生き方があることが分かり、それを選んで知ろうとする。 ・「分からないことを、図鑑などで調べたり、人に質問したりする。	・身近な職業・職業の様子やその変化が分かる。 ・図書やインターネット等を用いて、自分に必要な情報を探る。 ・気付いたこと、分かったことや個人・グループでまとめたことを発表する。	・産業・経済等の変化に伴う職業や仕事の変化のあらましを理解する。 ・「高等学校・学科等の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習歴の概略が分かる。 ・「生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・収集・整理し活用する。 ・「必要に応じ獲得した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。	総合：「職業講話」（2月） 総合：「身近な職業調べ」（2月） 総合：「合同進路説明会」（7月） 総合：「資料の活用」（1月） 社会科：「世界のさまざまな地域の調査」（3月） 保健体育科：「オリンピック・パラリンピック調べ」（全学年） 技術科：「生活や社会における技術の役割」（10月）	総合：「卒業生の話を聞く会」（7月） 総合：「合同進路説明会」（7月） 数学科：「資料の活用」（1月） 社会科：「日本の戦い〜第二次世界大戦プレゼンテーション」（5月） 社会科：「マスコと世論」（6月）	
		【選択能力】 様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力	・「家庭や学校などの身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心を持つ。 ・「分からないことを、図鑑などで調べたり、人に質問したりする。	・いろいろな職業や生き方があることが分かり、それを選んで知ろうとする。 ・「分からないことを、図鑑などで調べたり、人に質問したりする。	・身近な職業・職業の様子やその変化が分かる。 ・図書やインターネット等を用いて、自分に必要な情報を探る。 ・気付いたこと、分かったことや個人・グループでまとめたことを発表する。	・産業・経済等の変化に伴う職業や仕事の変化のあらましを理解する。 ・「高等学校・学科等の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習歴の概略が分かる。 ・「生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・収集・整理し活用する。 ・「必要に応じ獲得した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。	総合：「職業講話」（2月） 総合：「身近な職業調べ」（2月） 総合：「合同進路説明会」（7月） 総合：「資料の活用」（1月） 社会科：「世界のさまざまな地域の調査」（3月） 保健体育科：「オリンピック・パラリンピック調べ」（全学年） 技術科：「生活や社会における技術の役割」（10月）	総合：「卒業生の話を聞く会」（7月） 総合：「合同進路説明会」（7月） 数学科：「資料の活用」（1月） 社会科：「日本の戦い〜第二次世界大戦プレゼンテーション」（5月） 社会科：「マスコと世論」（6月）	
意思決定能力	自らの意思と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。	【計画実行能力】 目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動等で実行していく能力	・「家庭や学校などの身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心を持つ。 ・「分からないことを、図鑑などで調べたり、人に質問したりする。	・いろいろな職業や生き方があることが分かり、それを選んで知ろうとする。 ・「分からないことを、図鑑などで調べたり、人に質問したりする。	・身近な職業・職業の様子やその変化が分かる。 ・図書やインターネット等を用いて、自分に必要な情報を探る。 ・気付いたこと、分かったことや個人・グループでまとめたことを発表する。	・産業・経済等の変化に伴う職業や仕事の変化のあらましを理解する。 ・「高等学校・学科等の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習歴の概略が分かる。 ・「生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・収集・整理し活用する。 ・「必要に応じ獲得した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。			
		【選択能力】 様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力	・「家庭や学校などの身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心を持つ。 ・「分からないことを、図鑑などで調べたり、人に質問したりする。	・いろいろな職業や生き方があることが分かり、それを選んで知ろうとする。 ・「分からないことを、図鑑などで調べたり、人に質問したりする。	・身近な職業・職業の様子やその変化が分かる。 ・図書やインターネット等を用いて、自分に必要な情報を探る。 ・気付いたこと、分かったことや個人・グループでまとめたことを発表する。	・産業・経済等の変化に伴う職業や仕事の変化のあらましを理解する。 ・「高等学校・学科等の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習歴の概略が分かる。 ・「生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・収集・整理し活用する。 ・「必要に応じ獲得した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。	総合：「職業講話」（2月） 総合：「身近な職業調べ」（2月） 総合：「合同進路説明会」（7月） 総合：「資料の活用」（1月） 社会科：「世界のさまざまな地域の調査」（3月） 保健体育科：「オリンピック・パラリンピック調べ」（全学年） 技術科：「生活や社会における技術の役割」（10月）	総合：「卒業生の話を聞く会」（7月） 総合：「合同進路説明会」（7月） 数学科：「資料の活用」（1月） 社会科：「日本の戦い〜第二次世界大戦プレゼンテーション」（5月） 社会科：「マスコと世論」（6月）	
		【課題解決能力】 意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適切に対応すると、希望する進路の実現に向け、自ら課題を設定してその解決に取り組む能力	・「家庭や学校などの身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心を持つ。 ・「分からないことを、図鑑などで調べたり、人に質問したりする。	・いろいろな職業や生き方があることが分かり、それを選んで知ろうとする。 ・「分からないことを、図鑑などで調べたり、人に質問したりする。	・身近な職業・職業の様子やその変化が分かる。 ・図書やインターネット等を用いて、自分に必要な情報を探る。 ・気付いたこと、分かったことや個人・グループでまとめたことを発表する。	・産業・経済等の変化に伴う職業や仕事の変化のあらましを理解する。 ・「高等学校・学科等の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習歴の概略が分かる。 ・「生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・収集・整理し活用する。 ・「必要に応じ獲得した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。	総合：「職業講話」（2月） 総合：「身近な職業調べ」（2月） 総合：「合同進路説明会」（7月） 総合：「資料の活用」（1月） 社会科：「世界のさまざまな地域の調査」（3月） 保健体育科：「オリンピック・パラリンピック調べ」（全学年） 技術科：「生活や社会における技術の役割」（10月）	総合：「卒業生の話を聞く会」（7月） 総合：「合同進路説明会」（7月） 数学科：「資料の活用」（1月） 社会科：「日本の戦い〜第二次世界大戦プレゼンテーション」（5月） 社会科：「マスコと世論」（6月）	

平成28・29年度 中野区教育委員会「学校教育向上事業」研究指定校

中野区立 緑野中学校・北原小学校・緑野小学校

研究主題

未来社会を見据えた「未来の学び」の創造
～保幼小中連携を通じたキャリア教育の実践～



社会の変化は加速度を増し、未来社会は複雑で予測困難となってきました。予測できない変化や課題に受け身で対処するのではなく、「主体的」に向き合い、多様な他者と共に関わり合い「対話的」に解決して、新しいコトやモノを創造していくことが求められています。

キャリア教育で育成を目指す「基礎的・汎用的能力」を統合的に捉え、次期学習指導要領の目指す3つの「資質・能力」とリンクさせることで、これからの未来社会をたくましく生き抜く「資質・能力」を明確にして、保幼小中が連携した「新しい学び」の創造に取り組んできました。

具体的な手法として

- 主体的に学び、情報を活用して「考える授業」を展開する「ICT・学校図書館活用型授業」
- 対話して課題を解決するための「議論する授業」を展開する「話し合い・協議型授業」
- 専門分野のスペシャリストによる授業を展開する「外部人材活用型授業」

このような授業を組合せ、「主体的・対話的で深い学び」いわゆるアクティブ・ラーニングの視点から授業を見直し、未来社会を見据えた「未来の学び」を開発してきました。

育成すべき資質・能力(基礎的・汎用的能力)について

基礎的・汎用的能力		ICT・学校図書館活用型授業 (情報を活用し、主体的に学び 「考える授業」)	協議型授業 (ペアやグループで対話する 「議論する授業」)	外部人材活用型授業 (小中連携等による専門分野の スペシャリストによる授業)
人間関係形成 社会形成能力	多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力	他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップ、コラボレーション・スキルなど	北原小学校6年2組(外国語)	緑野小学校3年1組(理科)
自己理解能力 自己管理能力	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力	自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動など	緑野小学校1年1・2・3組(国語)	
課題対応能力	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力	情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善など	緑野中学校1年A組(数学) 緑野中学校1年C組(理科) 緑野小学校2年1・2・3組(国語) 緑野小学校3年2組(社会)	緑野中学校1年B組(音楽) 緑野中学校1年C組(理科) 緑野小学校3年3組(算数) 緑野小学校5年1組(音楽・国語)
キャリアプランニング 能力	「働くこと」を担う意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力	学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善など	北原小学校6年1組(社会)	緑野小学校4年1・2組(社会・総合的な学習の時間) 緑野小学校5年2組(社会)
				緑野小学校6年1・2組(総合的な学習の時間)

学校図書館

～すべての学びは「本」から始まる～

これまでの読書活動のための活動に加え、「調べ学習」や新聞を活用した授業など、様々な授業で活用することによって、主体的・対話的で深い学びを実現し「未来の学び」の基礎を創造していきます。

【読書センター】

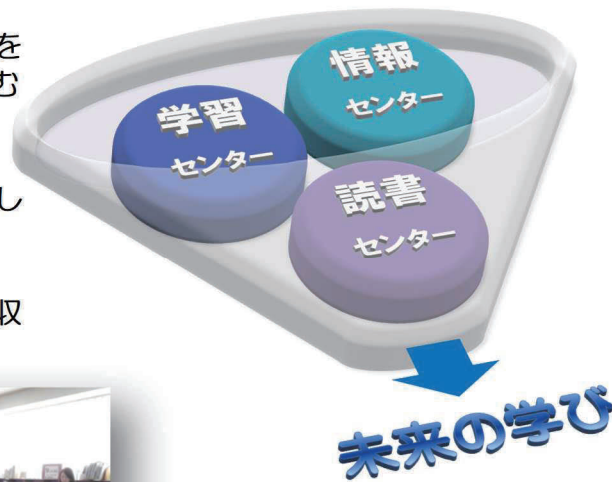
子ども達の想像力を培い、学習に対する興味・関心等を呼び起こし、豊かな心や人間性、教養、創造力等を育む自由な読書活動や読書指導の場

【学習センター】

子ども達の自発的・主体的・協働的な学習活動を支援したり、授業の内容を豊かにして理解を深めたりする場

【情報センター】

子ども達や教職員の情報ニーズに対応したり、情報の収集・選択・活用能力を育成したりする場



ICT (Information and Communication Technology)

～最先端のテクノロジーをすべての子ども達に～

スマートフォンやタブレット PC など情報機器の使いやすさが向上して、子ども達が情報を活用したり発信したりする機会が増大しています。AIやIoTなどの情報技術は今後も飛躍的に進展し、常に新たなテクノロジーが生まれ、人々のあらゆる活動によって「ビッグデータ」が生み出され蓄積されていく社会になってきました。

あらゆる活動において、情報を適切に選択・活用していくことが不可欠な社会。そうした社会において、情報を的確に捉え、何が重要なかを主体的に考え、見いだした情報を活用しながら他者と協調し、新たな価値の創造に挑んでいけるようにするため、情報活用能力(情報モラルを含む)の育成に向けた「未来の学び」を創造していきます。



協議・対話

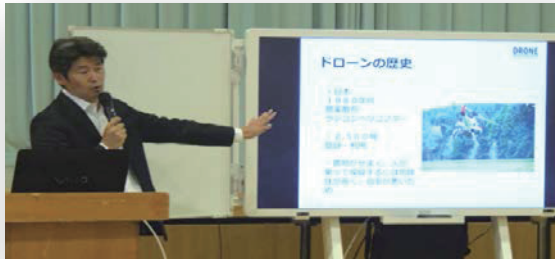
～他者との多様な考えを融合する～

子ども達同士、教職員や地域住民・外部人材、先哲の考え方を手掛かりに考えたこと等の「協議」を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」を実現することで「未来の学び」を創造していきます。



外部人材

～活躍する専門家からの学び～



外部の有識者による指導(企業・大学等との連携指導)

子ども達を取り巻く環境等を踏まえ、生命の有限性や自然の大切さ、主体的に挑戦してみることや多様な他者と協働することの重要性などを実感しながら、理解することができるよう「本物」を体験することが重視されています。

地域・家庭・社会と連携・協働して、外部人材を積極的に導入して「本物」の体験活動の機会を確保していくことで「未来の学び」を創造します。



小学校と中学校の教員による協働した指導(乗り入れ指導)

保幼小中連携

～地域社会総がかりで「未来の学び」を実践する～

教育課程を徹底的に社会に開くことにより、地域や家庭、そして学校(保育所・幼稚園)が協働(コラボレーション)して、「未来の学び」の実践を進めていきます。



保幼小連携(校庭での遊び)

小中連携(教科指導以外の学校行事や様々な活動での連携)